

Akiko Nakajima, Soprano Recital

中嶋 彰子(ソプラノ) Akiko Nakajima, Soprano

—2021年にオペラ・デビュー30周年を迎え、今までに52の主演級オペラロールを上演した、国際的ベテラン・ソプラノ歌手。北海道生まれ。15歳で渡豪し、シドニー大学・音楽院を卒業。1990年、全豪オペラ・コンクールで優勝し、同年、シドニーとメルボルン、両オペラハウスでオペラ・デビューを果たす。92年、イタリア・ナポリのサン・カルロ歌劇場にてオペラ「ラ・ボエーム」のムゼッタ役で欧州デビュー。同年、オーストリアのインスブルック国際バロック音楽祭に出演し、中嶋がタイトルロールを歌った『アルチーナ』が欧州放送連合より最優秀賞を受賞する。99年にはダルムシュタット州立劇場にて『ランメルモールのルチア』の大役をこなし、オペラ誌「オーパンヴェルト」の最優秀新人賞にノミネートされる。99年よりウィーン・フォルクス・オーパーの専属歌手となりトップスターとして活躍。現在に至るまで、スイス、ドイツ、イタリア、オランダ、デンマーク、フランス、スペイン、スウェーデン、オーストラリア、アメリカの劇場や音楽祭に活躍の場を広げる日本を代表する国際的な日本人ソプラノ歌手である。

日本本格デビューは、99年シャルル・デュトワ指揮 / NHK交響楽団のフォーレ「レクイエム」。その後NHKニューイヤーオペラコンサート、NHK総合番組「名曲アルバム」出演などのテレビ出演、国内の多くの交響楽団の客演、多くのオペラ出演をこなす。2013年に現在の一般財団法人群馬オペラアカデミー「農楽塾(のうらじゅく)」を成立。海外の著名な指導者達と共に次世代の育成に力を入れる。2012年からは脚本、演出、企画プロデュースも手掛け、2017年にはスイスのシオン音楽祭にて舞台作品『夢幻能: 月に憑かれたピエロ』をプロデュース&主演、2019年には笠松泰洋作曲オペラ「人魚姫」の海外初公演をウィーンのダス・オフシアターにてプロデュース&演出する。

第14回「出光音楽賞」受賞。AMATI所属アーティスト。ウィーン市立音楽芸術大学(MUK) 舞台芸術学部声楽/オペラ科独唱専攻教授。2020年よりウィーン燐日協会音楽監督。一般財団法人群馬オペラアカデミー「農楽塾(のうらじゅく)」総監督。ぐんま観光特使。

ホームページ: www.akiconakajima.org



古野 七央佳(ピアノ) Naoka Furuno, Piano

神奈川県出身。桐朋学園大学音楽学部を経て、同大学院音楽研究科修士課程を修了。第33回ピティナ・ピアノコンペティション全国大会入選。第29回かながわ音楽コンクール最優秀賞・ヤマハ賞受賞。群馬オペラアカデミー「農楽塾」第8期生。声楽や器楽との共演等で演奏活動をしている。

現在、桐朋学園大学嘱託演奏員、二期会オペラ研修所ピアニスト。



共演 秋田声楽研究会混声合唱団 Akita seigaku kenkyukai kousei gasshoudan

1988年、県北を中心とした声楽家とピアニストを集結して、地域の音楽活動活性化を図るため発足。県内で本格的なオペラ公演、フィガロの結婚やカルメン等々を積極的に開催。クオリティの高い内容で、1988年第24回秋田県芸術選奨、2003年木内音楽賞特別賞を受賞。あきた芸術劇場(ミルハス)で2022年10月にバレエ団とのコラボで「ヘンゼルとグレーテル」公演。ここ数年は合唱(女声、混声)を中心に活動。2012年に混声合唱団を結成。練習は厳しく!アフターは楽しくをモットーに毎週(金)の夜、熱い練習が始まる。歌声と笑い声に包まれ熱い練習にあけくれています。

